

第3回対策本部会議報告

◆現地の状況（日本医療福祉生協連 東日本大震災支援ニュースNO 7参照）

デイサービス職員にも犠牲者が！

・高橋会長理事、藤谷専務理事が、宮城県の松島地区に激励に入ったようです。松島海岸診療所は、1階が水浸しで使用不能ですが、14日10時～診療開始するそうです。デイサービス施設「なるせの里」の行方不明者の捜索で、施設の周りを探していたところ、送迎車が見つかり職員1名と利用者さん2名が遺体で発見されたそうです。また施設の中でも2名の職員が遺体で見つかったようです。

◆広島医療生協の支援行動について

救援物資をトラックで運ぶ事になりました

・全日本民医連では、16日と19日に物資専用の便を確保して順次現地に送るという情報があり、広島医療生協として、物資を購入してトラックで東京の全日本民医連に運ぶ事にしました。本日、組織部の岡吉・山根、内田で買出しに行き、子供用オムツ、大人用オムツ、粉ミルク、ホッカイロ、生理用品、ウエットティッシュ、手洗い消毒ジェル、コンタクトレンズ洗浄剤、ミネラルウォーター、調理不要のごはん、カップラーメン、カセットコンロ、カセットガスボンベ、などを購入しました。ただ、単一乾電池、ミネラルウォーターは、どこにいっても売り切れで単一乾電池は1個も買う事ができませんでした。運転手は、今のところ組織部の2人の坂本さんです。

追伸）組合員さんからも既に防寒着が数着とどけられました。

人的支援に井口先生と数名の看護師さんが立候補・現在調整、段取り中です！

・あすなろ生協診療所の井口所長より、現地への医療支援に行きたいとの表明がありました。また、あすなろ生協診療所の看護師さんも先生について支援したいとの意思表明がありました。共立病院からも1名の看護師さんから意思表明がありました。対策本部としてその思いを大切にし、支援部隊として送り出せるよう、との体制や段取りをとっていきたいと考えています。共立病院の村田院長からは、井口先生の意思を尊重し安心して支援に行っていただけるよう診療所のバックアップ体制をとると心強い言葉がありました。

支援は長期になることが考えられます。2次、3次と支援部隊がだせるように準備をしておく必要があるでしょう。

詳しくは、続報でお知らせします。

職員からのカンパが集まっています！

・本日、三次のえのかわ訪問看護ステーションが39000円、地域介護相談所から30000円が届けられました。共立病院外来では、一万円札をカンパされる患者さんも数人おられたようです。

職員のカンパと同時に、患者さんにも一言お願いの言葉をかけましょう。